

平成 29 年度大阪管区气象台近畿地区気象研究会
2017 年度日本気象学会関西支部第 2 回例会

プログラム

開催日時 : 平成 29 年 12 月 22 日(金) ~ 23 日(土)

(一日目) 10 時 00 分 ~ 17 時 10 分

(二日目) 09 時 15 分 ~ 17 時 45 分

開催場所 : 大阪合同庁舎第4号館 16 階大会議室

(大阪市中央区大手前 4-1-76)

10:00 開会 司会 : 大阪管区气象台防災調査課長 吉野 昌史

10:00~10:05 開会挨拶 大阪管区气象台気象防災部次長 中澤 博志

【大阪管区气象台近畿地区気象研究会発表 一日目】

10:05~10:10 説明事項 (司会から説明)

発表 1 題 25 分(発表 20 分+質疑 5 分) *は発表者

座長 : 大阪管区气象台観測課長 野澤 武志

10:10~10:35 (01) 庁舎移転による気象特性の変化について

*岩本征大、大崎晋太郎(奈良地方气象台)

10:35~11:00 (02) 黄砂の観測日数について

*平山篤志、牧田広道(京都地方气象台)

11:00~12:00 話題提供(大阪管区台内談話会を兼ねる)

「水蒸気稠密観測システムの構築による首都圏シビアストームの機構解明
(H29-31 年度)」プロジェクトの目指すもの

気象研究所気象衛星・観測システム研究部

第二研究室室長 小司 禎教

12:00~13:00 昼休憩

座長 : 大阪管区气象台予報課長 岸本 賢司

13:10~13:35 (03) 大阪国際空港における重力波の影響

*大久保卓治(関西航空地方气象台)

13:35~14:00 (04) 2016 年 6 月 21 日と 24 日の広島空港周辺での大雨について

*中平晃央、中嶋哲二(関西航空地方气象台)

14:00~14:25 (05) 突風関連指数を用いた突風予告情報発表基準

小野里早苗、向井直人*、佐藤悠弥**(*神戸地方气象台、**大阪管区气象台)

14:25~14:50 (06) 奈良県の熱雷予測

風早範彦、大谷修一**(*奈良地方气象台、**大阪管区气象台)

14:50~15:15 (07) 2017 年寒候年の記録的大雪事例調査(兵庫県)

向井直人、梶田祐里**(*神戸地方気象台、**鳥取地方気象台)

15:15～15:30 休憩

15:30～15:55 (08) 京都府南部で発生した線状降水帯の監視要素について
*山本陽子、平山篤志(京都地方気象台)

座長：大阪管区気象台地震火山課長 石井 嘉司

15:55～16:20 (09) 大規模な地震後の最大余震 M と地震活動
*関谷博、高市翔平、山口泰弘、川田保(大阪管区気象台)

16:20～16:45 (10) 1948 年の田辺市付近の地震の調査
*三木洋介、藤田真樹(和歌山地方気象台)

16:45～17:10 (11) 手作り起震装置の試作
*片岡義久(大阪管区気象台)

【大阪管区気象台近畿地区気象研究会発表 二日目】

09:15～09:20 説明事項 (司会から説明)

座長：大阪管区気象台予報課長 岸本 賢司

09:20～09:45 (12) 2017 年 7 月 16 日夜遅くから 17 日明け方にかけての滋賀県北部での
大雨事例解析
*原田正輝、北野昌幸、田中滋司(彦根地方気象台)

09:45～10:10 (13) 2017 年 7 月 17 日昼過ぎから 18 日夕方に滋賀県南部で発生した
大雨事例の解析
*岡崎さおり、朝原信長(彦根地方気象台)

10:10～10:35 (14) 2017 年 6 月 1 日の大阪府での大雨と突風について
*瀧本絵里香、村松勇治、湯浅宏章、大井川正憲、廣尾進、大谷修一、小
山内大輔、山本實、真鍋恒夫、溝本崇、黒田遥、神田豊(大阪管区気象
台)

10:35～10:55 講評 大阪管区気象台気象防災部長 横田 寛伸

10:55～11:05 休憩

【2017 年度日本気象学会関西支部第 2 回例会】

11:05～11:15 例会開会挨拶 日本気象学会関西支部長 土井 恵治

11:15～11:20 説明事項 日本気象学会関西支部幹事 関野 裕功

11:20～12:00 話題提供
豪雨の予測精度向上をめざした船舶搭載 GNSS による水蒸気量解析研究
気象研究所気象衛星・観測システム研究部
第二研究室室長 小司 禎教

12:00～13:00 昼休憩

13:00～14:00 特別講演

冬季雷の気象的・電气的特性について

音羽電機工業(株)、元 防衛大学校元防衛大学教授 道本 光一郎

発表 1 題 20 分(発表 15 分+質疑 5 分) *は発表者

セッション 1(14:00～14:40) 座長 : 向川 均(京都大学防災研究所)

(1) 暖候期における局地的大雨監視時の RaDAMoS 指数と気象衛星観測を用いた新たな閾値の検討

*村松 勇治、湯浅 宏章、秋山 幸三(大阪管区気象台観測課)

(2) ジュニアセッション:六甲山地からの冷氣流による気温低下効果と季節変化の解析

*田村 望海、瀧本 家康(国立大学法人神戸大学附属中等教育学校)

14:40～14:50 休憩

セッション 2(14:50～16:10) 座長 : 大澤 輝夫(神戸大学大学院海事科学研究科)

(3) 高知大学 MP レーダーによる雨量評価の検証

*西井 章、佐々 浩司(高知大学理学部)

(4) 夏季晴天日における大阪の地表面温度特性

*山本 雄平(京都大学大学院理学研究科)、石川 裕彦(京都大学防災研究所)

(5) 岡山大学津島キャンパス気象ネットワーク観測 2017

*足立 菜摘、高橋 明歩、渡邊 果歩(岡山大学理学部)、はしもとじょーじ、野沢 徹(岡山大学自然科学研究科)

(6) 一雨降水量と降水連続日数の 2 次元分布から見た日本の降水長期変化

*草薙 浩(京都ウェザー研究会)

16:10～16:20 休憩

セッション 3(16:20～17:40) 座長 : 石岡 圭一(京都大学大学院理学研究科)

(7) 大阪府柏原市における雨滴粒径分布の時間変動特性

*山本 一葉(大阪教育大学大学院教育学研究科)、吉本 直弘(大阪教育大学教育学部部)

(8) 波崎栈橋における MOST-EKMAN ハイブリッド型一次元鉛直風速プロファイリングについて

*杉山 康弘、香西 克俊、大澤 輝夫(神戸大学大学院海事科学研究科)、嶋田 進(産業技術総合研究所)、竹山 優子(東京海洋大学学術研究院)

(9) 波崎栈橋における陸風時の WRF 計算風速鉛直プロファイルの精度検証

*中里 廉、大澤 輝夫(神戸大学大学院海事科学研究科)、嶋田 進(産業技術総合研究所)、竹山 優子(東京海洋大学学術研究院)、中村 聡志(海上・港湾・航空技術研究所)

(10) WRF 入力値に用いられる複数データセットの精度比較と検討

*内山 将吾、大澤 輝夫(神戸大学大学院海事科学研究科)、Gerald Steinfeld
(ForWind, University of Oldenburg)、Detlev Heinemann (ForWind, University of
Oldenburg)

17:40～17:45 例会閉会挨拶 日本気象学会関西支部常任理事 吉野 昌史
17:45 閉会